

平成29年度進行管理・評価シート
鎌倉市歴史的風致維持向上計画（平成28年1月25日認定）

□進捗評価シート(様式1)

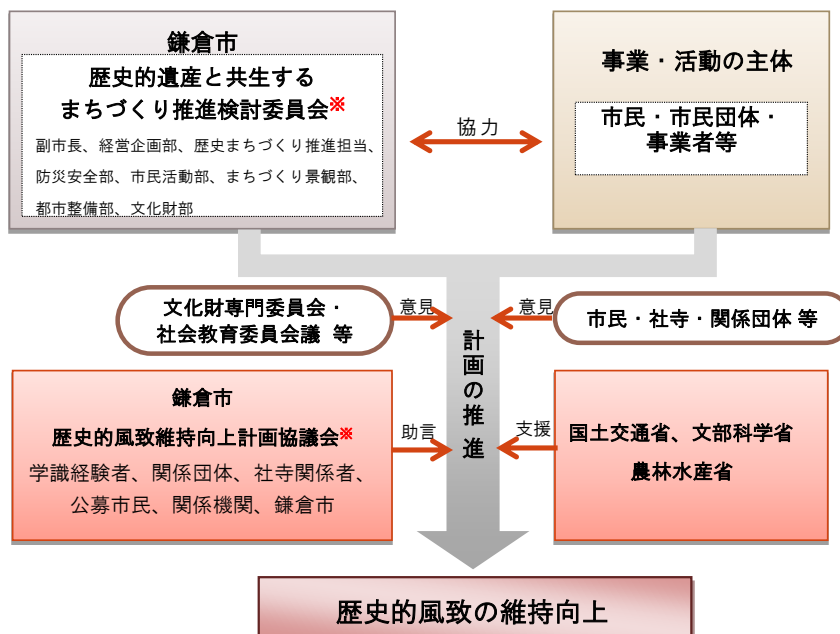
①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実現に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画に関する施策	2
2 景観地区の活用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 景観重要建築物等助成事業	4
2 史跡永福寺跡環境整備事業	5
3 扇湖山荘庭園防災工事業	6
4 歴史的風致形成建造物保存整備事業	7
5 交通需要マネジメント事業	8
6 社寺境内公衆トイレ改修・整備事業	9
7 北鎌倉県道沿い歩行空間整備事業	10
8 歩行環境改善事業	11
9 樹林維持管理事業	12
10 緑地維持管理事業	13
11 緑地保全事業	14
12 風致保存会助成事業	15
13 歴史的風土特別保存地区買入れ事業	16
14 発掘調査速報展事業	17
15 出土遺物庁舎内展示事業	18
16 史跡環境整備事業	19
17 文化財保存・修理助成事業	20
18 文化財調査・整備事業	21
19 観光案内板整備事業	22
20 鎌倉彫振興事業所整備事業	23
21 郷土芸能普及啓発支援事業	24
22 御霊会助成事業	25
23 教育情報事業	26
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の指定	27
2 文化財の修理(整備事業を含む)及び防災	28
3 文化財の保存・活用の普及及び啓発	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 豪華な装飾 別荘文化の象徴ほか	31
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 日本遺産に関する普及啓発活動	32
2 歴史的遺産と共生するまちづくり(歴史的 風致維持向上計画)の啓発	33
3 計画に位置つけた事業の完了数、整備 箇所数	34

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	35
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		平成29年度
項目	現在の状況	
計画の実現に向けた推進体制	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	計画を推進するためには、特に文化財保護行政とまちづくり行政とが密接に連携していく必要があることから、計画策定段階で設置した庁内の横断的な組織である「歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会」を中心に、関連部局との連携体制の強化を図るものとする。また、同じく計画策定段階で組織した「鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会」についても、定期的に開催し、PDCAサイクルを意識した変更協議や計画実施に係る連携調整機関としての役割を担うこととする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価を議題として、平成29年度第1回「歴史的風致維持向上計画協議会」開催し、法定協議会等の意見聴取を行った。(平成30年3月19日)		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	庁内の横断的な連携をより深めるために設置した、「歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会」を有効に活用し、情報共有と計画に対する共通認識を図りながら、計画に登載した構成事業を着実に推進していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		

○平成29年度の推進体制



歴史的風致維持向上計画協議会

- 開催日 平成30年3月19日(月)
- 議題
 - ・鎌倉市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について
 - ・鎌倉市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について



第1回協議会の様子

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度
都市計画に関する施策		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 重点区域を中心に古都保存法や都市計画法、景観法などの様々な制度を活用し、良好な景観の形成に努めてきた。本計画の推進においても、既存制度やこれまでに策定した計画の適正な運用により、歴史的風致の維持向上に努めるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年8月に策定した「鎌倉都市計画 都市計画道路の見直し方針」に基づく都市計画道路変更の都市計画決定(平成29年11月14日、平成30年2月9日告示)を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	平成28年度に掲げていた都市計画道路の変更の都市計画決定を行った。

状況を示す写真や資料等

◆ 重点区域への影響

「鎌倉都市計画 都市計画道路の見直し方針」では、市域の都市計画道路全39路線の見直しを行い、長期未着手の都市計画道路について必要性や課題を整理し、存続、廃止、変更等の判断を行った。うち18路線については、廃止又は変更の方針としたため、平成29年度に18路線全ての都市計画道路変更の都市計画決定を行った。

その中の一つとして、重点区域内に位置する長期未着手の都市計画道路(3・6・5号浄明寺大町線)を廃止とした。

同路線は歴史的風土特別保存地区や史跡指定地を地表式で通過する計画であるため、歴史的風土や緑地保全に直接的に多大な影響を与える計画であった。

鎌倉都市計画道路の変更について

図2・3

鎌倉都市計画道路の変更内容

◆鎌倉都市計画道路の変更(市決定路線)に係る都市計画図の変更

【告示日】平成29年11月14日

【名称】鎌倉都市計画道路の変更(市決定路線) 鎌倉市告示第200号

【内容】3・6・2号堀切線:全線廃止
 3・6・5号浄明寺大町線:全線廃止
 7・6・1号〜7・7・10号区画街路:全路線廃止
 3・6・1号鎌倉駅小町線:一部廃止

◆鎌倉都市計画道路の変更(県決定路線)に係る都市計画図の変更

【告示日】平成29年11月14日

【名称】鎌倉都市計画道路の変更(県決定路線)

【内容】3・5・4号和田塚名越線:一部廃止及び名称を「3・5・4号材木座名越線」に変更/神奈川県告示第440号

3・5・7号腰越大船線:一部変更/神奈川県告示第441号

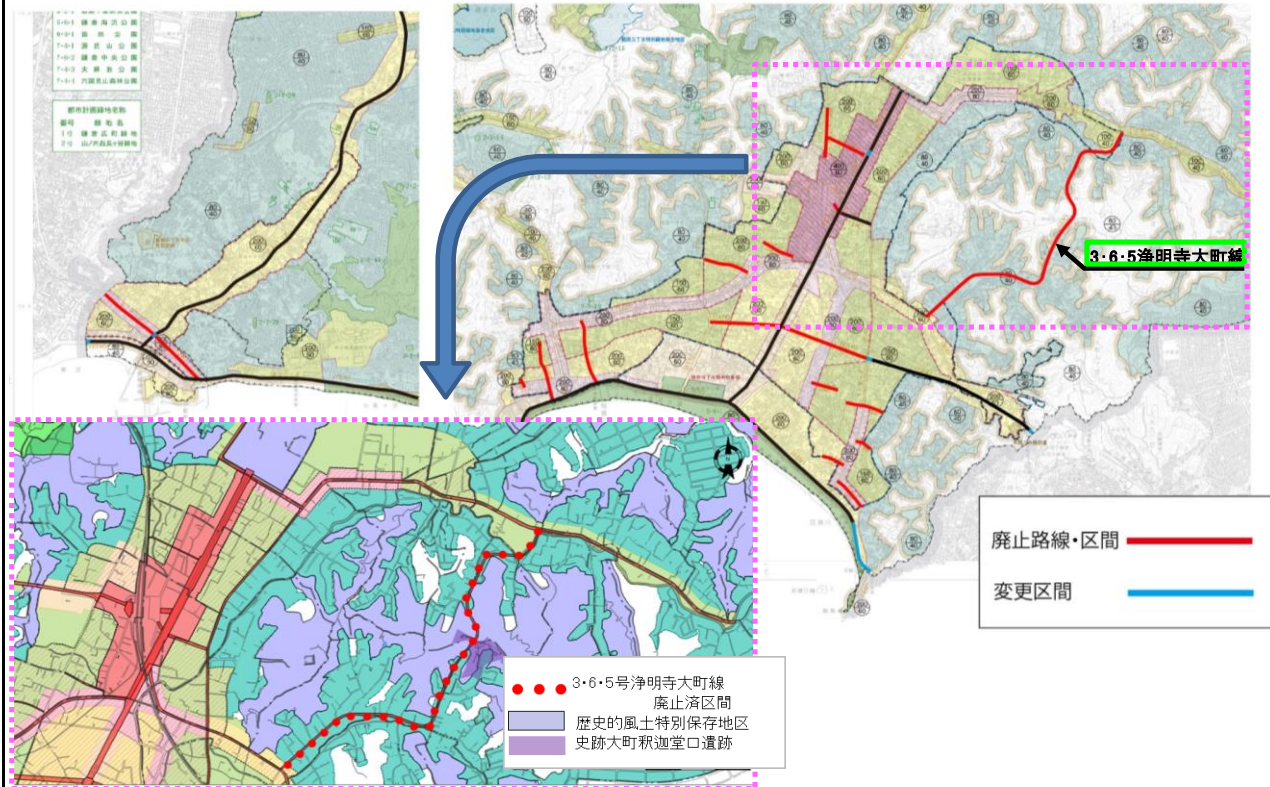
◆鎌倉都市計画道路の変更(県決定路線)に係る都市計画図の変更

【告示日】平成30年2月9日

【名称】鎌倉都市計画道路の変更(県決定路線)

【内容】3・3・1号鎌倉参道線:一部変更/神奈川県告示第79号

3・5・1号国道134号線:一部変更/神奈川県告示第80号



評価軸②-2

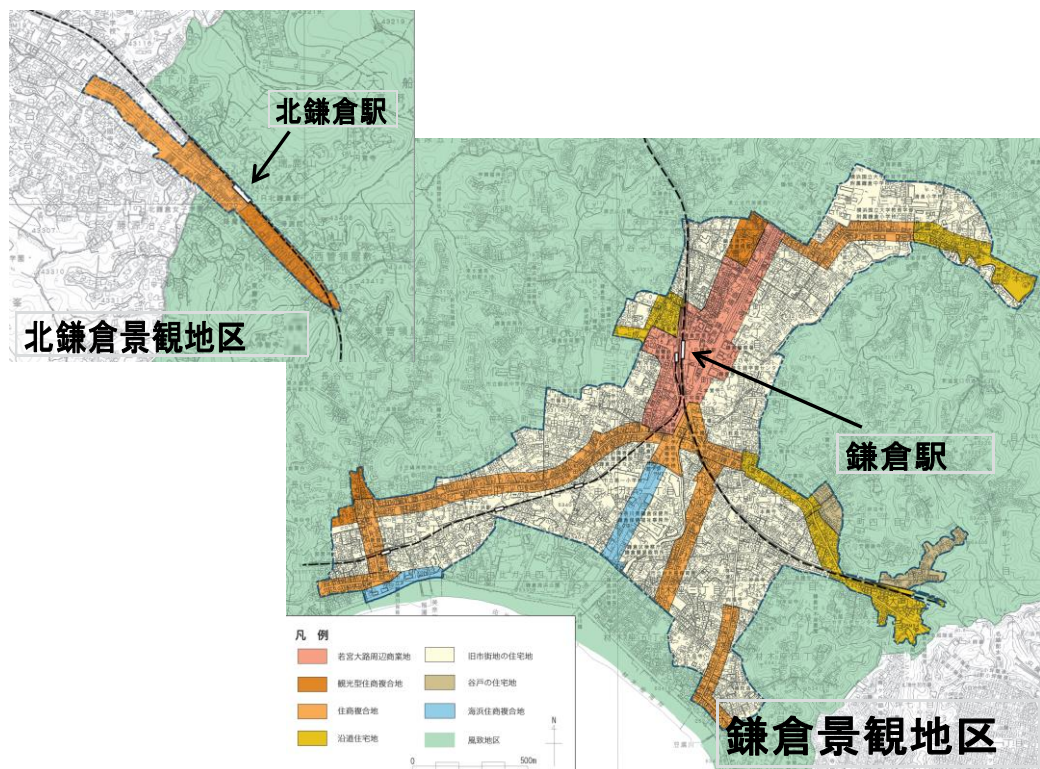
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成29年度
項目			
景観地区の活用		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	重点区域を中心に古都保存法や都市計画法、景観法などの様々な制度を活用し、良好な景観の形成に努めてきた。本計画の推進においても、既存制度やこれまでに策定した計画の適正な運用により、歴史的風致の維持向上に努めるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成29年3月に改定した鎌倉市景観計画に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。 ・重点区域内に位置する鎌倉景観地区及び北鎌倉景観地区内の建築物の建築等に対し、景観形成基準に基づき規制誘導を行った。 ・神奈川県屋外広告物条例及び鎌倉市景観計画に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。 【定量的数値】 景観地区内認定件数: 鎌倉景観地区 101件／北鎌倉景観地区 2件(いずれも平成30年1月31日現在) ※申請があった全ての建築物の建築等が、協議を経て景観形成基準を満たしたため、計画を認定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

鎌倉景観地区及び北鎌倉景観地区 位置

鎌倉景観地区



景観地区の概要

- ・鎌倉景観地区及び北鎌倉景観地区において、それぞれ形態意匠の制限を定めている。
- ・さらに、両景観地区内を7つの地区に区分し、地区ごとに形態意匠の制限(色彩の制限も含む)を定めている。
- ・建築物の高さの最高限度は15m(第一種低層住居専用地域内においては10m)。ただし、この高さ制限を満たしている場合においても、周辺のまち並みに調和しない形態意匠であれば、高さを更に抑える必要がある。
- ・原則として、全ての建築物の建築等について認定申請を要する(ごく小規模な建築物の建築等を除く)。

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
景観重要建築物等助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成8年度～平成37年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市景観重要建築物等の保存又は活用のために必要な修繕、又は外観の修景を含めた工事に対する助成金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観重要建築物等助成(平成29年度) 実績2件／当初計画2件 都市景観条例に基づき指定している景観重要建築物等について、2件の建築物(笹野邸及び篠田邸)の修繕等に対し、計2,653,000円の助成金を交付した。笹野邸は劣化により雨戸戸袋が破損していたため、この修繕等を行った。また、篠田邸は雨漏りが発生していたため、防水工事を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		景観重要建築物等に指定している建築物等は、いずれも築年数が経過しているため、所有者からの修繕等の相談は多くなっているが、市の財政上、全ての相談に対応するのは難しい状況である。今後は平成27年に設置した、景観重要建築物等保全基金を有効活用していく。	
状況を示す写真や資料等			

笹野邸 雨戸戸袋修繕前



笹野邸 雨戸戸袋修繕後



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
史跡永福寺跡環境整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和56年度～平成29年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)	
計画に記載している内容	史跡永福寺跡について広く一般に公開するための環境整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・第3次鎌倉市総合計画第2期基本計画後期実施計画(平成24～27年度)において「国指定史跡永福寺跡の環境整備」を定めている。 ・平成9年度に策定した「国指定史跡永福寺跡整備基本計画」に基づき、整備委員会及び国・県の指導・助言を得て、第一次整備計画地16,575.30㎡の復元整備を行うとともに、周辺山林(庭園修景部分41,746.83㎡)の景観的復元を行っている。 ・昭和58年度から中心伽藍・苑池等の発掘調査を実施し、平成19年度までに16,199㎡を完了した。 ・平成24年度末、平成25年度末には一般市民を対象とした整備状況を報告する現地説明会を開催し、平成27年7月には1週間に限って一般公開を行った。平成28年度からは仮オープンとして、整備を終えたエリアのみ年間を通じて公開していたが、平成29年6月の整備工事自体の終了に伴い、全面公開を開始した。鎌倉には鎌倉時代を体現する空間が無かったが、整備を行ったことで、それを体現する空間を創造するとともに、遺構の保存を図り、学校教育や生涯学習の場を提供することができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	公衆トイレ等便益施設の設置にあたっては、隣接する民有地所有者等の承諾を得るのが難しい場所がある。	
状況を示す写真や資料等		
 展望台から二階堂・薬師堂の基壇を望む  復原された苑池から二階堂基壇を望む  修景工の結果整備された遣水(やりみず)		

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
扇湖山荘庭園防災工事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～平成36年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	鎌倉山に所在する扇湖山荘の庭園において、斜面地の崩落を防ぐための工事を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
公的不動産の利活用の推進方針を策定する中で、扇湖山荘の基本方針を検討している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		既存する庭園や建物の利活用に向けた基本方針の検討を推進するとともに、次年度以降の防災工事の実施に努める。	

状況を示す写真や資料等

現況写真



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
歴史的風致形成建造物保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成37年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	重点区域内に在している歴史的風致形成建造物、その保存活用を図るため、必要に応じて耐震調査や改修設計内装の修理や外観の修繕を含めた工事等行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・「御成小学校旧講堂」について、歴史的風致形成建造物の指定を平成30年3月29日に行い、「歴史的風致の維持及び向上に関する法律」第14条第2項の規定に基づく標識の製作を行った。 ・「旧鎌倉図書館」について、基本設計に続いて平成29年度に実施設計を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・「御成小学校旧講堂」については、平成30年度に実施設計を行い、内装の修理を含めた外観の工事等を実施していく予定である。 ・「旧鎌倉図書館」については、平成30年度に改修工事を実施する予定である。併せて、国登録有形文化財の登録を目指すとともに、登録に至った際は歴史的風致形成建造物の指定を順次行っていく。	
状況を示す写真や資料等		

御成小学校旧講堂



沿革等：鎌倉町立御成尋常小学校の講堂として、昭和8年7月26日に上棟、同年10月14日に竣工。
 平成29年6月29日に国登録有形文化財の告示。
 構造規模：木造平屋、トラス小屋組、床面積688.2㎡

大きな宝形屋根の二つの塔屋をもつ特異な和風の意匠をしており、同一敷地内にある御用邸時代の冠木門とともに、将来に継承していく必要のある今小路通りの顔として建っており、ランドマークとして景観上の重要性が高い建造物である。

旧鎌倉図書館



沿革等：鎌倉町立の施設として、昭和11年10月に開館
 構造規模：木造2階建て、トラス小屋組、床面積343.15㎡

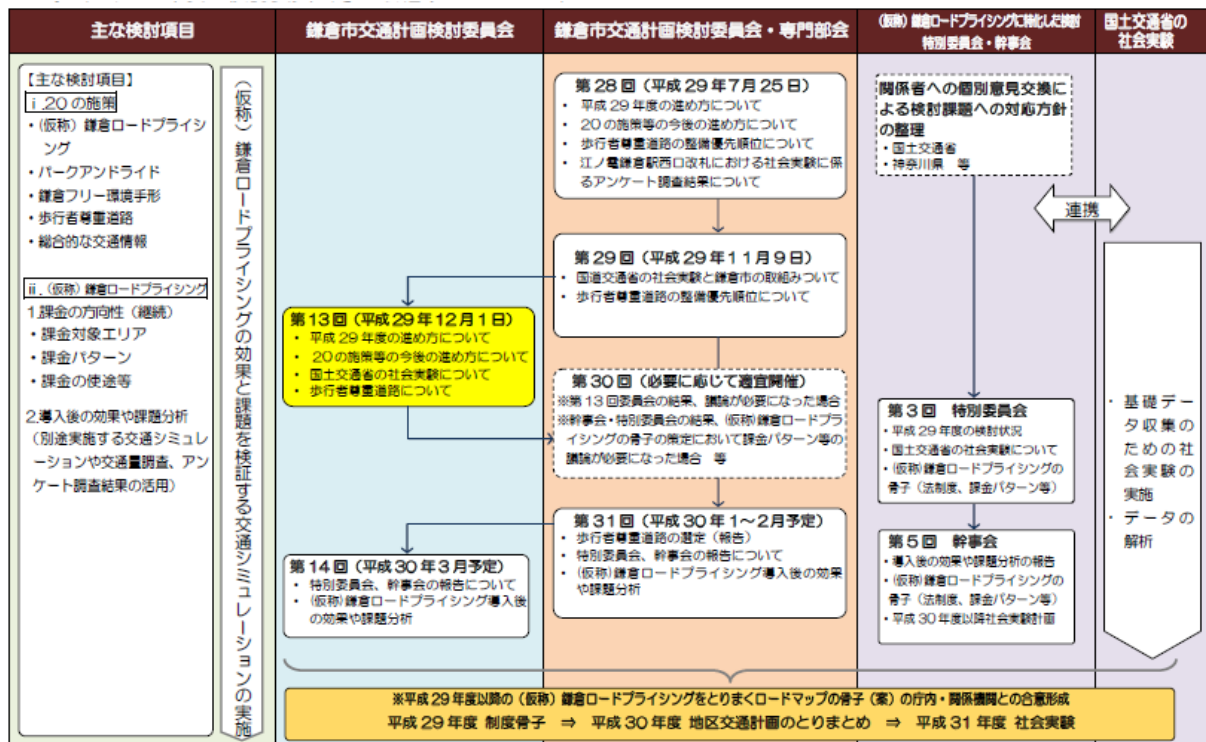
縦長の上げ下げ窓が並ぶ洋風の壁面に瓦屋根を載せた和洋折衷のデザインとなっており、両切妻に懸魚(げぎょ)のついた破風板が設けられている点が特徴的である。この意匠は同時期に建てられた旧講堂を意識したのではないかと推測される。これらの特徴的な意匠から、旧鎌倉図書館は、同一敷地内にある旧講堂、冠木門及び前面の歩道と一体で良好な景観を形成しており、旧講堂と同様に都市景観上の重要性は高いものである。

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
交通需要マネジメント事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成13年度～平成37年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	休日を中心とした交通渋滞の緩和を図るため、交通需要マネジメント(TDM=Transportation Demand Management)施策を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・平成26年度 鎌倉地域の地区交通計画策定に向けた「中間とりまとめ」を作成し、20の施策などの見直しを行った。 ・平成27年度 (仮称)鎌倉ロードプライシングの検討に特化した鎌倉市交通計画検討委員会特別委員会を開催しシステムや法制度に関して議論を開始した。 ・平成28年度 平成8年度以来の鎌倉地域の交通実態調査を実施し、現在の鎌倉地域の交通量などを調査した。鎌倉市交通計画検討委員会では20の施策中の歩行者尊重道路について検討を進めた。 ・平成29年度 平成28年度に実施した鎌倉地域の交通量調査を基に(仮称)鎌倉ロードプライシングの交通シミュレーションを実施し、導入効果を検証した。また、鎌倉市交通計画検討委員会で歩行者尊重道路として9路線を指定し、車両の速度抑制策としてハンプの設置について検討を進めた。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		(仮称)鎌倉ロードプライシングについては、法制度やシステム面での課題を鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会で整理したが、全ての課題解決には至っていないことから、引き続き関係機関等との調整を行っていく。
状況を示す写真や資料等		

鎌倉市交通計画検討委員会における平成29年度の進め方



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
		現在の状況	
社寺境内公衆トイレ改修・整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	昭和39年度～平成34年度		
支援事業名	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業費補助金		
計画に記載している内容	老朽化の進んでいる社寺境内等の公衆トイレについて、ユニバーサルデザイン化と機能改善を図るための改修・整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・妙本寺公衆トイレについて、平成29年8月に改築工事を完了した。 ・本覚寺公衆トイレについて、平成30年3月に設計を完了した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		残存する老朽化の進んだ公衆トイレは、限られた狭いスペースに設置されているため、可能な範囲でユニバーサルデザイン化を行う。	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

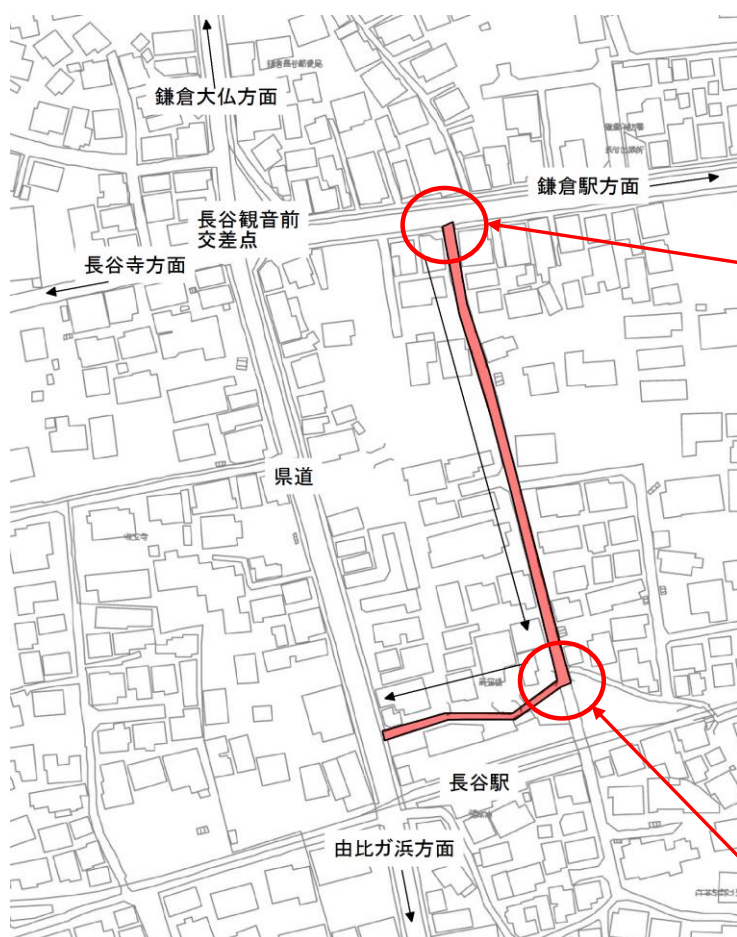
		評価対象年度	平成29年度
項目			現在の状況
北鎌倉県道沿い歩行空間整備事業			☐実施済 ☐実施中 ☒未着手
事業期間	平成29年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	JR北鎌倉駅に近接する第三鎌倉道踏切から建長寺前までの県道21号沿いの民有地を 整備し、快適な歩行空間の確保を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度は地元や関係機関との協議及び事業着手に至らなかった。 このため、事業期間を平成31年度から34年度まで延長する「軽微な変更に係る届出書」を所管省庁宛に提出し受理されたところである。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない		都市計画道路としては概成済みとなっているため神奈川県では整備の必要がない旨の回答を得ている。このため、今後地元要望を吸い上げる形での全体計画を形成し、その後、神奈川県に協力を求めていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
歩行環境改善事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～平成37年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	年間を通じ多くの観光客が訪れる場所において、周辺道路の美装化等を行うことにより、歩行者の誘導・通行量の分散を図り、歩道の混雑軽減に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度は地元や関係機関との協議及び事業着手に至らなかった。 計画期間内の事業終了を目指し、地元や関係機関との協議に関するスケジュール調整を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		県道歩道から裏通りへ観光客の誘導・通行量の分散を行った場合、騒音やゴミ問題などの住環境の変化に対して、地域住民の合意を図っていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
樹林維持管理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和63年度～平成37年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風土保存区域、近郊緑地保全区域等の良好な環境を守るため、該当地域を6分割し、毎年1地区を対象として、所有者に代わり樹木の枝払い等を実施する。 【実施内容】 ①自然林 山際の樹木が家屋に直接触れている部分及び家屋を被っている部分の枝払い、家屋や通行上で直接被害を受ける、又は危険を感じると思われる倒木や枯損木の伐採 ②人工林 人工的に植栽された樹木で、ある程度まとまりがある箇所の間伐や枝打ち等（自然林に係る事業を実施した後の予算の範囲内で実施）		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
樹林管理事業の29年度実施数量 ・枝払い245本 ・伐採 35本 （樹林管理の「取扱い基準」に基づく現地調査の結果で優先度A・B・Cのランク付けを行い、平成29年度は優先度の高いAを対象に事業を実施した。）			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		樹林管理事業は該当地区を毎年1地区ずつ6年1サイクルで事業を実施していたが、平成29年度から毎年2地区ずつ3年1サイクルに見直しを行った。そのため、優先度B・Cの未実施分についても、今後は短いサイクルで対応することが可能となった。	
状況を示す写真や資料等			

【平成29年度実績】[枝払245本、伐採35本の合計280本、灌木伐採279㎡]

平成29年度は、浄明寺・十二所・大町・材木座地区で実施

対象者:581件(未着84)のうち申請者:119件

実 施:優先順位A:68件

未実施:優先度の低い箇所:17件

基準の対象外:34件

【平成28年度実績】[枝払227本、伐採3本の合計230本 灌木伐採85㎡]

平成28年度は、山ノ内・今泉地区で実施

対象者:315件(未着73)のうち申請者:57件

実 施:優先順位A:33件+優先順位B:6件+優先順位C:2件=41件

未実施:基準の対象外:16件

【樹林管理事業 現場写真】



施工前



施工中



完了

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
緑地維持管理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和56年度～平成37年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市が所有する緑地において、傾斜木や枯損木などの危険木、隣接地への越境樹木がある場合、事前の伐採等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
緑地維持管理事業の29年度実施数量 ・除草・灌木伐採等:88緑地において延べ面積154,458㎡ ・伐採・枝払い:42本の樹木、1,500本の竹について伐採・枝払いを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	道路や家屋に面した危険性のある緑地について、緑地維持管理計画を策定するための検討を行った。		

状況を示す写真や資料等

【緑地維持管理事業 現場写真】



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
緑地保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和47年度～平成37年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	美観上優れた樹木、樹林、生け垣を指定し、所有者に対し、適切な管理に係る奨励金を交付する。また、市街化区域に所在する緑地の保全を図るため、土地所有者と緑地保全契約を締結し、奨励金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度: 樹木等の指定、緑地の契約を締結し、奨励金を交付した。 平成29年度: 樹木等の指定、緑地の契約を継続し、新たな樹木等の指定(1件)を実施した。また、奨励金の交付を予定している(緑地保全契約奨励金の上半期分については平成29年9月に交付済み)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	平成30年度: 樹木等の指定、緑地の契約を継続し、新たな樹木等の指定及び奨励金の交付を予定している。		

状況を示す写真や資料等

平成29年度 指定／契約状況及び奨励金交付状況

- ・保存樹木(1本または1株につき年額1,800円)
- ・保存樹林(100平方メートルにつき年額530円)
- ・保存生け垣(片側の面積10平方メートルにつき年額860円)

項目	平成29年度末指定状況		平成29年度末奨励金支出状況		
	件数	本数・面積	件数	本数・面積	奨励金の金額
樹木	65	327	65	327	588,600
樹林	188	2,420,093.63	184	2,415,825.63	12,754,980
生け垣	105	9,182.54	106	9,280.54	759,810
合計	310	-	305	-	14,103,920

※奨励金を辞退された方等を含むため、指定状況とは異なります。

※樹木・樹林・生け垣を重複して指定している方がいるため、件数の合計は各項目の合計と一致しません。

・緑地保全契約

(固定資産税、都市計画税及び特別土地保有税に相当する額

並びに現状維持に対する手当の助成金として1平方メートル当たり13円を乗じて得た額の合計額)

項目	平成29年度末契約状況		平成29年度末奨励金支出状況		
	件数	面積	件数	面積	奨励金の金額
緑地保全契約	114	528,877.72	117	532,392.72	8,360,960

※年度内に契約変更等があったため、契約状況とは異なります。



風致地区に位置するサンゴジュの保存生け垣(笹目町)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
風致保存会助成事業			現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和58年度～平成37年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上に深く関わっている鎌倉風致保存会の運営に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため、運営費として10,312,000円の補助金を交付した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



鎌倉風致保存会が取得し事務所として活用している旧坂井邸洋館



鎌倉風致保存会による史跡保存管理活動



鎌倉風致保存会による緑地維持管理活動



子どもによる緑地管理のボランティア

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
歴史的風土特別保存地区買入れ事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和42年度～平成37年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(古都保存・緑地保全等事業)	
計画に記載している内容	歴史的風土特別保存地区内において、土地所有者が建築物その他の工作物の新築等の行為の許可を受けることができず、土地利用に著しい支障をきたすため、土地所有者から土地を買入れるべき旨の申出があった場合、買入れを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
古都保存法に規定する行為許可基準を満たさないため不許可となった行為のうち、土地所有者からその土地を買入れるべき旨の申出を受けた2件について買入れを行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	土地所有者からの買入れ申出に基づき、予算上可能な範囲内で対応を図る。	

状況を示す写真や資料等



平成 29 年度に買入れた土地の例(大仏長谷観音歴史的風土特別保存地区)



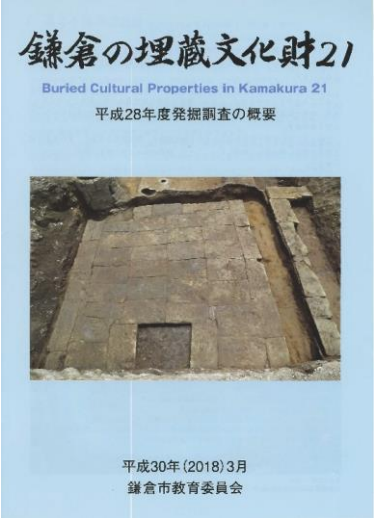
平成 29 年度に買入れた土地の例(瑞泉寺歴史的風土特別保存地区)



買入れ箇所

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
発掘調査速報展事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～平成37年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(地域の特色ある埋蔵文化財活用事業)	
計画に記載している内容	前年度に市内で行われた発掘調査について、出土した遺物や調査中の写真などの展示を行うとともに、併せて遺跡調査研究発表会を行う。また、「鎌倉の埋蔵文化財」として調査の概要を冊子にまとめ、無償配布する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成28年度に市内で実施した発掘調査の成果について、遺跡調査速報展において展示した。開催中の8月6日には、NPO法人鎌倉考古学研究所と共催で、遺跡調査研究発表会を実施した。平成28年度実施の発掘調査成果を写真で紹介する『鎌倉の埋蔵文化財21』を刊行した。 また、鎌倉歴史文化交流館において、史跡永福寺跡や発掘調査速報に関する展覧会を3回開催した。 【速報展】 観覧者数 延べ496人 【研究発表会】 観覧者数 約140人 【『鎌倉の埋蔵文化財21』】 発行数 3,000冊 【鎌倉歴史文化交流館の展覧会】 入館者数 延べ12,448人		
2		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	各事業について、観覧者を増やすために、より効果的なPRの方法を検討する。	
状況を示す写真や資料等		
【速報展】 ・開催期間 平成29年8月1日(火)～7日(月)(1日と7日は準備・片付け) ・会場 鎌倉生涯学習センター ギャラリーC 【『鎌倉の埋蔵文化財21』】 ・平成30年3月23日刊行 遺跡調査速報展の様子   【研究発表会】 ・開催日: 平成29年8月6日(日) ・会場: 鎌倉生涯学習センター ホール 【鎌倉歴史文化交流館の展覧会】 ・平成29年10月19日(木)～12月9日(土) - 企画展「甦る永福寺―史跡永福寺跡整備記念―」 ・平成30年1月4日(木)～3月17日(土) - 発掘調査速報展2018 vol.1「特集: 鎌倉の構造と境界」 - 若宮大路周辺遺跡群/大倉幕府周辺遺跡群 ・平成30年3月24日(土)～6月9日(土) - 発掘調査速報展2018 vol.2「特集: 水と暮らす中世」 - 材木座町屋遺跡/北条時房・顕時邸跡		

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度		
項目		現在の状況		
出土遺物庁舎内展示事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手		
事業期間	平成27年度～平成37年度			
支援事業名	市単独事業			
計画に記載している内容	市内の発掘調査において出土した遺物を市庁舎内に展示する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
常設展示 ・展示資料数 常設:13点 ・展示替え7回(遺物6回、パネルのみ1回)				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・展示替えの回数を増やし、より多くの遺物を展示できるよう工夫する。			
状況を示す写真や資料等				
【庁内展示】 ・開催期間 通年 ・展示場所 鎌倉市役所4階文化財課カウンター横 庁内展示の様子				
  				

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目	現在の状況	
史跡環境整備事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和37年度～平成37年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)	
計画に記載している内容	市内に点在する国指定の史跡について適切な保存管理と公開活用を行うため、防災工事、危険木の伐採、歩行路の確保、史跡説明板等の設置などを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市が管理する史跡の適切な維持管理を行うとともに、平成29年度は、史跡大町釈迦堂口遺跡で樹林管理及び崩落対策工事実施に向けた基本設計を実施した。 また、市が管理している史跡についての暫定的な整備、暫定的な公開、日常の維持管理などの意見を伺うため、平成29年度からアドバイザー準備会議の取組を開始した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	史跡数が多く、範囲が広いため、全ての史跡で万全な維持管理を行うのは困難であるが、平成28年度から維持管理にかかる予算を増額し対応している。	
状況を示す写真や資料等		



史跡大町釈迦堂口遺跡

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
文化財保存・修理助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和36年度～平成37年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)	
計画に記載している内容	国・県・市の指定を受けている文化財(建造物)のうち、修理が必要なものについて修理費用の助成を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・国指定重要文化財「鶴岡八幡宮摂社若宮」の保存修理事業を実施した(平成27年度～)。 ・国指定重要文化財「光明寺本堂」の調査事業を実施した(平成29年度～)。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	(鶴岡八幡宮摂社若宮) 毎月1回、所有者である鶴岡八幡宮、修理業者、県・市担当職員による定例会議を実施。事業の進捗状況や修理方針についての確認などを行っている。 ※年に1回程度、文化庁担当官による現地指導を実施している。 (光明寺本堂) 現況の調査及び図面の作成を実施。 ※年に1回程度、文化庁担当官による現地指導を実施している。	
状況を示す写真や資料等		
 仮設足場を設置(鶴岡八幡宮摂社若宮)  現況調査を実施(光明寺本堂)		

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
文化財調査・整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和47年度～平成37年度	
支援事業名	市単独事業(昭和47年度～平成37年度) 国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)(昭和59年度～平成37年度)	
計画に記載している内容	市指定文化財の管理者に対して文化財の適正な管理に係る補助金を交付する。また、発掘調査の実施や埋蔵文化財の記録保存を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【市指定文化財保存管理補助金】 ・交付対象市指定文化財件数 191件 ・所有者等 74名 【発掘調査】 ・調査件数 5件 【報告書刊行】 ・遺跡数 27件(平成18年～21・23・27～29年実施分) ・発行数 300部(第1～5分冊各)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	管理補助金の交付対象となる市指定文化財については、定期的に所在の確認と把握を行う必要がある。また、発掘調査後、報告書が未刊行になっているものについて、平成29年度から一部委託事業とし、5年間の計画を立て解消に努めている。それを着実に取り組んでいく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
【発掘調査】 ・山ノ内上杉邸跡及び、横小路周辺遺跡の発掘調査において発見された遺構		
 		

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
観光案内板整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和39年度～平成37年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的遺産の周辺等来訪者多い場所において、歴史的遺産の紹介や観光ルート等に関する案内板の新設・改修・修繕を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の比較的名ではない観光地点について、漫画「鎌倉ものがたり」内に登場するエピソードと併せて紹介する案内板を5箇所設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

設置箇所の現況写真



葛原岡神社



中央図書館



鎌倉国宝館



鎌倉市役所



十二所

設置の案内板板面デザイン例



評価軸③-20

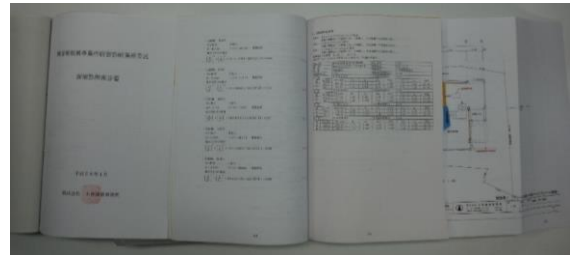
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
鎌倉彫振興事業所整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成29年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(住宅建築物安全ストック形成事業)	
計画に記載している内容	伝統的工芸品である鎌倉彫の保護・育成を図るため、活動拠点となる施設のバリアフリー工事化や耐震改修工事等を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成27年度: 耐震診断を実施(耐震性能の指標 I_s が0.48と基準の0.6を下回る結果) 平成28年度: 耐震改修工事設計を実施(耐震診断結果を踏まえ、 $I_s=0.75$ を目標とした補強のための設計) 平成29年度: 耐震改修工事を実施し、 $I_s=0.77$ となった。また、和室を洋室化し、1階の段差解消を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	バリアフリー工事については、玄関前が狭小であるため、既存の傾斜路を存置することとし、1階和室の洋室化による段差解消のみを行うこととした。	

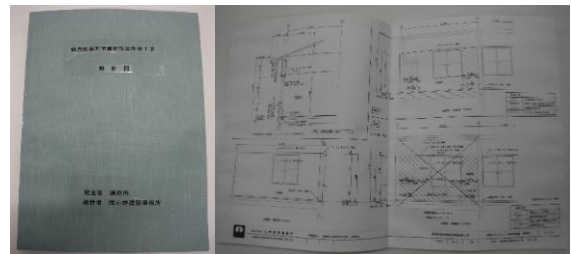
状況を示す写真や資料等



建物外観



耐震診断報告書(平成27年度)



耐震改修設計図(平成28年度)



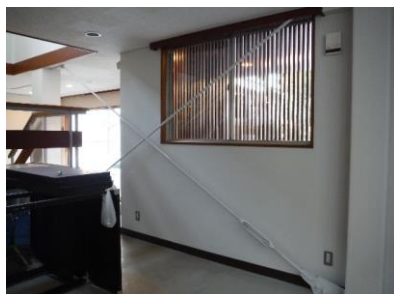
耐震改修前(1階展示室)



耐震改修前(2階会議室)



改修前(1階和室)



耐震改修後(1階展示室)



耐震改修後(2階会議室)



改修後(1階和室の洋室化: 段差解消)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度			
郷土芸能普及啓発支援事業			現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	昭和45年度～平成37年度					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	関係団体との協働により、郷土芸能の普及啓発の場である鎌倉郷土芸能大会を開催する。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
第48回鎌倉郷土芸能大会を開催した。 ・開催日時 平成29年11月19日(日) ・開催場所 光明寺本堂 ・参加団体 9団体 ・来場者数 273人 鎌倉に伝わる郷土芸能を広く一般に周知するため、平成29年度は光明寺本堂において郷土芸能大会を開催した。						
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)				
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		鎌倉郷土芸能大会の来場者を増やすために、より効果的なPRの方法を検討する必要がある。				
状況を示す写真や資料等						

第48回鎌倉郷土芸能大会の様子



評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
御霊会助成事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和51年度～平成37年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 面掛行列の実施、実施に必要な衣装・用具の保存や維持管理、行事の担い手の育成を図っている御霊会へ補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

面掛行列を実施している御霊会に対し、60,000円の補助金を交付することで、歴史・伝統を活かした地域づくりの推進と、地域に伝わる伝統行事の継承活動への支援を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

面掛行列の様子



面掛行列ルート図



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
教育情報事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	昭和57年度～平成37年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市内の小・中学校の郷土学習の資料として学習資料を作成し、配付する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成27年度に中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」、平成28年度は小学校社会科学習資料「かまくら」の改訂作業を行った。(中学校理科学習資料「鎌倉の自然」を含め、3種類を3年ローテーションで改訂を行っているため) 毎年度、「私たちの鎌倉」を中学校1年生、「かまくら」を小学校3年生の全員に配付し、社会科等の学習資料として活用したことで、子どもたちが地域の歴史を学び、固有の文化や伝統行事を次世代に継承する意識の醸成を図ることができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」



小学校社会科学習資料「かまくら」

文化財の保存又は活用に関する事項

計画に記載している内容	未指定の物件については、計画的・継続的な調査研究を進め、それらの学術的、歴史的及び芸術的等の価値を確定させるとともに、特に保存と活用の措置を講じる必要性等を見極めながら、順次指定等を行うこととする。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度は、「彫刻 木造 梵天・帝釈天立像 二軀 円覚寺蔵」、「古文書 紙本著色 靄岡御神領 往還并谷々小道分間図 一舗 鶴岡八幡宮蔵」「歴史資料 荏柄天神社詩板 一枚 荏柄天神社蔵」について、平成29年10月30日開催の鎌倉市文化財専門委員会へ諮問し、平成30年1月15日に指定の答申を受け、平成30年2月15日付け教育委員会告示により、市指定文化財に指定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

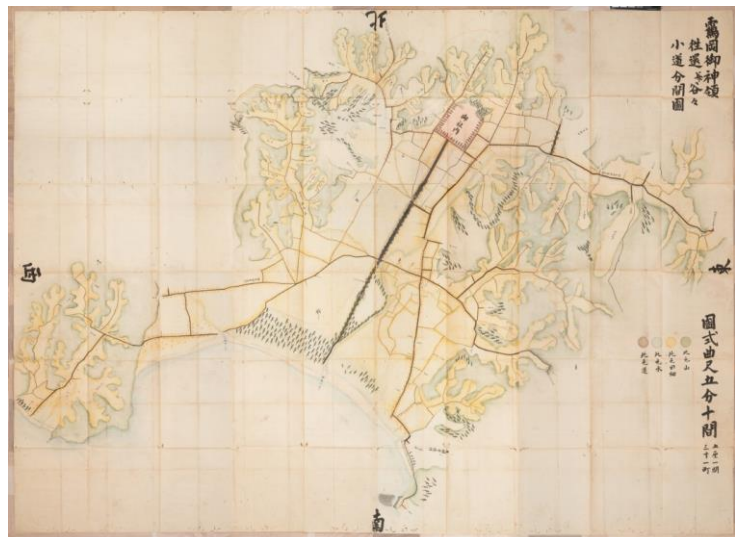
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



木造 梵天・帝釈天立像 二軀
円覚寺蔵



紙本著色 鶴岡御神領 往還并谷々小道分間図 一舗
鶴岡八幡宮蔵



荏柄天神社詩板 一枚 荏柄天神社藏

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の修理(整備事業を含む)及び防災			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	市は引き続き、国及び神奈川県と連携し、指導・助言及び修理等に係る助成を計画的に行い、指定文化財等の適切な保存を図る。 文化財の保存・活用に向け、防災・防犯に取り組んでいく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・国指定重要文化財「鶴岡八幡宮摂社若宮」の保存修理事業及び国指定重要文化財「光明寺本堂」の調査事業を実施した。(P20) ・国指定史跡「鶴岡八幡宮境内(平家池)」及び国指定名勝及史跡「円覚寺庭園(白鷺池)」の整備事業を実施した。 ・国指定史跡永福寺跡を広く一般に公開するため、環境整備を行った。(P5) ・史跡大町釈迦堂口遺跡の樹林管理及び崩落対策工事の実施に向けた基本設計業務を実施した。(P19) ・「鎌倉文化財防災連絡協議会」を運営し、機械警備等への補助や、総会を開催し、また、防災に関する講演会を開催し、防災への意識の向上を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 重要文化財 鶴岡八幡宮摂社若宮  重要文化財 光明寺本堂  史跡大町釈迦堂口遺跡  史跡永福寺跡			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及及び啓発			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の活用を図ることは、市の目指す「住み続けたい、住んでみたい、訪れたい」まちづくりの一端を担うこととなり、所有者の意向を踏まえながら、引き続き積極的な公開活用を図る必要がある。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成28年度に市内で実施した発掘調査の成果について、遺跡調査速報展において展示した。開催中の8月6日には、NPO法人鎌倉考古学研究所と共催で、遺跡調査研究発表会を実施した。平成28年度実施の発掘調査成果を写真で紹介する『鎌倉の埋蔵文化財21』を刊行した。(P17) ・出土遺物について、庁舎内で常設展示を行った。(P18) ・市民を対象に市内に存する文化財を巡る「文化財めぐり」を平成29年11月17日に開催した。 ・史跡永福寺跡の整備終了に伴い、平成29年7月17日に、史跡永福寺跡整備報告会(見学会)を開催し、また、平成29年10月14日に、夜間臨時開放を行った。 ・鎌倉歴史文化交流館において、史跡永福寺跡や発掘調査速報に関する展覧会を3回開催した。(P17) ・鎌倉国宝館において、鎌倉の貴重な文化財に関する展覧会を7回開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



遺跡調査速報展の様子



庁内展示の様子


 文化財めぐり(英勝寺)
 (平成29年11月17日)
 参加者数 24名

 史跡永福寺跡整備報告会(見学会)
 (平成29年7月17日)
 参加者数 約300名



「鎌倉歴史文化交流館」企画展の様子

- ・平成29年10月19日(木)～12月9日(土)
企画展「甦る永福寺―史跡永福寺跡整備記念―」
- ・平成30年1月4日(木)～3月17日(土)
発掘調査速報展2018 vol.1「特集:鎌倉の構造と境界」若宮大路周辺遺跡群/大倉幕府周辺遺跡群
- ・平成30年3月24日(土)～6月9日(土)
発掘調査速報展2018 vol.2「特集:水と暮らす中世」材木座町屋遺跡/北条時房・顕時邸跡

延べ入館者数12,448人(H30.3.31まで)



「鎌倉国宝館」特別展「仏像入門」の様子

- ・平成29年4月22日(土)～6月4日(日) 特別展「鎌倉の至宝―優美なる慶派のほとけ―」
- ・平成29年6月10日(土)～7月17日(月) 特別展「常盤山文庫名品展2017―墨蹟の美と天神のかたち―」
- ・平成29年9月1日(金)～10月15日(日) 特別展「国宝 鶴岡八幡宮古神宝」
- ・平成29年10月21日(土)～12月3日(日) 特別展「鎌倉公方足利基氏―新たなる東国の王とゆかりの寺社―」
- ・平成30年1月4日(木)～2月4日(日) 特別展「北斎と肉筆浮世絵―氏家浮世絵コレクションの至宝―」
- ・平成30年2月10日(土)～3月4日(日) 特別展「ひな人形―おとめが受け継ぐたからもの―」
- ・平成30年3月10日(土)～4月15日(日) 特別展「仏像入門―のぞいてみよう! ウラとワザー―」

延べ入館者数41,299人(H30.3.31まで)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	平成29年度
年月日		掲載紙等	
鎌倉の日本遺産 本格PR 市など案内冊子やポスターで		2017年4月12日	読売新聞
鎌倉に新名所誕生「歴史文化交流館15日から公開」		2017年5月13日	神奈川新聞
経筒や扇 鎌倉文化感じて		2017年5月13日	読売新聞
住民が守った雅と憩いの場(旧華頂宮邸)		2017年6月9日	朝日新聞
豪華な装飾 別荘文化の象徴(長谷こども会館 旧諸戸邸)		2017年8月11日	朝日新聞
威容放つ館 フレンチ味わう(古我邸 旧荘清次郎別邸))		2017年9月15日	朝日新聞
【フリーペーパー】江ノ島 鎌倉ナビ11月号		2017年10月25日	江ノ島電鉄株式会社
【書籍】日本遺産 時をつなぐ歴史旅2		2017年11月1日	東京法令出版
【会報誌】SENON VOL.559 鎌倉歴史的遺産と共生するまちづくり 800年のまちを未来に残す		2017年11月1日	株式会社セノン
鎌倉時代の息吹を感じる 伝えていく「歴史文化交流館」開館から半年		2017年11月11日	朝日新聞
「幻の大寺院」VR体験が人気		2017年11月17日	タウンニュース
作家自ら設計 随所にモダン(石川邸 旧里見弾邸)		2017年12月8日	朝日新聞
【書籍】一個人 日本遺産を旅する2		2018年3月5日	KKベストセラーズ

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史的風致維持向上計画を含めた「歴史的遺産と共生するまちづくり」の取組に関連する新聞報道がされた。
- ・また、鎌倉市の情報が新聞、雑誌などメディア各種に多数紹介された。

新聞掲載件数: H27:2,050件 H28:1,733件 H29:1,705件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	

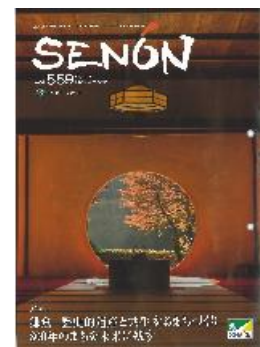
状況を示す写真や資料等



「鎌倉 江ノ島ナビ」



「日本遺産 時をつなぐ歴史旅2」



「SENON VOL. 559」



「一個人 日本遺産を旅する2」

評価軸⑥-1

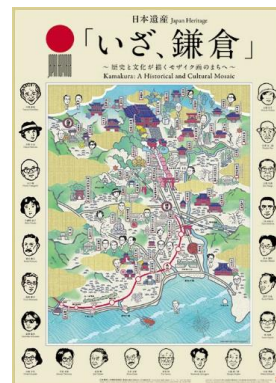
その他(効果等)

		評価対象年度	平成29年度
項目			
日本遺産に関する普及啓発活動			
計画に記載している内容	鎌倉市の維持及び向上すべき歴史的風致(全般)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」をベースに作成した、鎌倉の歴史・文化・伝統を語るストーリー『「いざ、鎌倉」～ 歴史と文化が描くモザイク画のまちへ ～』が日本遺産として平成28年度に認定されたことを受け、その普及啓発活動を行った。 ・日本遺産ブックレットの配布数 日本語版:66,000部 英語版:17,200部 ・日本遺産「いざ、鎌倉」映像のYoutube動画視聴回数 3,066回			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし		2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、国内外からの訪問客に向けて、社寺をはじめとする数多くの文化財を活用した情報発信や環境整備を推進していく。	
状況を示す写真や資料等			

○日本遺産ブックレットの配付



○日本遺産ポスターの配付



○日本遺産サミット IN 京都

開催日: 平成 29 年7月1日～2日

場 所: 京都市けいはんなオープンイノベーションセンターKICK

○日本遺産「いざ、鎌倉」の動画公開

(Youtube「鎌倉市公式チャンネル」)



サミット展示会場の様子



サミット展示ブースの状況



評価軸⑥-2
その他(効果等)

項目		評価対象年度	平成29年度
歴史的遺産と共生するまちづくり(鎌倉市歴史的風致維持向上計画)の啓発			
計画に記載している内容	特になし		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
鎌倉市が目指す将来都市像の実現に向け、「歴史的遺産と共生するまちづくり」の推進を考え方の一つとして、その具体的な取組について啓発を行った。また、鎌倉の歴史や文化の魅力をさらに発信するツールとして平成29年10月にツイッターを開設した。 ・鎌倉歴史文化交流館の展覧会:入館者数 延べ12,448人 ・ツイッター実績:ツイート数119件／フォロワー数122件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			

状況を示す写真や資料等

○鎌倉歴史文化交流館のイベント



企画展

「甦る永福寺-史跡永福寺跡整備記念-」

○ツイッター

発掘調査速報展2018 vol.1
「鎌倉の構造と境界」発掘調査速報展2018 vol.2
「特集:水と暮らす中世」

評価軸⑥-3

その他(効果等)

評価対象年度

平成29年度

項目

計画に位置づけた事業の完了数、整備箇所数

計画に記載している内容

- ・古都保存法施行50周年記念事業
- ・(仮称)鎌倉歴史文化交流センター整備事業

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・古都保存法施行50周年記念事業では、歴史的風土の大切さを多くの方々とともに考え共有し、緑豊かな自然環境と一体となった良好な市街地景観を次世代へ継承する意識の醸成が図られたことから、歴史的風致の維持向上に寄与した。(平成28年度完了事業)

・歴史的風致の維持向上に係る啓発活動の拠点施設として、平成29年5月15日に「鎌倉歴史文化交流館」の名称で開館し、平成30年3月末現在で23,238人の入館者数を達成した。(平成28年度完了事業)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

鎌倉歴史文化交流館では、引き続き鎌倉の歴史や文化の魅力を発信するため、各種イベントや企画展の開催を行っていくとともに、歴史的風致維持向上計画を含む「歴史的遺産と共生するまちづくり」の具体的な取組について啓発を行っていく。

状況を示す写真や資料等



鎌倉市古都保存法施行50周年記念誌



鎌倉歴史文化交流館整備完了写真

評価対象年度	平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成30年3月19日(月) 15:00～17:00	
(コメントの概要) ①史跡永福寺跡環境整備事業(進捗評価シート③-2)について、本事業の計画内容は、「史跡永福寺跡について、広く一般に公開するための環境整備を行う。」とあり、進捗評価シートでは「平成29年6月に整備工事自体の終了に伴い、全面公開を開始した。」となっていることから、現在の状況欄については「実施済」にチェックを入れる方が良いと考える。 ②歴史的風致形成建造物保存整備事業(進捗評価シート③-4)の状況を示す写真や資料等の欄に歴史的建築物の沿革や構造規模の説明が掲載されているが、文化財の指定や登録の情報も入れた方が良いと考える。 ③歩行環境改善事業(進捗評価シート③-8)について、定性的・定量的評価の記述が「事業着手に至らなかった。」との表現になっており、地元住民の反対があり進まない等の非常に不安になるネガティブな結果と捉えられてしまうのではないかと考える。 ④樹林維持管理事業(進捗評価シート③-9)について、平成29年度実施数量の欄で「平成29年度は要望者の要望の全てに対応できなかった。」とあるが、4ページの景観重要建築物等助成事業では、実施・検討にあたっての課題と対応方針のところに「市の財政上、全ての相談に対応するのは難しい状況である。」として記載されている。優先度の低い箇所という形で区分をしているので、予算ではなく実施する必要がなかったということであれば、書き方として「全てに対応できなかった」とは違う書き方になるのではないかと考える。 ⑤歴史的風致特別保存地区買入れ事業(進捗評価シート③-13)について、これは写真のどこを買ったのかが非常にわかりにくい。しるし等、工夫があった方が良いのではないかと考える。 ⑥発掘調査速報点事業(進捗評価シート③-14)に記述のとおり8月に速報展をおこなっているが、さらに、歴史的風致維持向上施設の整備事業で造った鎌倉歴史文化交流館でも特別展という形で速報展を行っているため、その記述ができれば入れた方が良い。 ⑦史跡環境整備事業(進捗評価シート③-16)について、永福寺跡の整備が終了し、これから市が管理している史跡について暫定的な整備、暫定的な公開、日常の維持管理などについても、文化財部の方でアドバイザー準備会議を平成29年度から取組を始めている。そういったことも記述の中で、事業を行っている、進めているということを盛り込む方が良いのではないかと考える。 ⑧文化財調査・整備事業(進捗評価シート③-18)について、「進捗状況」のところでは「計画通り進捗している」と書かれているが、「実施・検討にあたっての課題と対応方針」のところだけ読むとまだやらなくてはいけないことがあり、報告書が未刊行となっているものについて計画どおり進んでいるのかと、進捗状況と実施・検討にあたっての課題欄の記載に差があるため、行っている内容を少し加えた方がよいのではないかと考える。 ⑨観光案内板整備事業(進捗評価シート③-19)について、鎌倉ものがたりの看板を整備したとのことであるが、どこに設置したか、箇所数等を成果に記載した方がよいのではないかと考える。 ⑩教育情報事業(進捗評価シート③-23)について、学習資料の配付までは小学校で行っているが、実際に先生が授業で説明したことは少なく、これは全国的にも調査をしたことがあるが、郷土資料を公開するが授業で使う機会が比較的少ない。地域格差がある。実際、貴重な財産であるから、配付するだけでなく、なんらかの形で定量的な報告ができないか。例えば全員に配付した。もしくは何人に配付した。次の段階では意識の醸成と書いてあるが、表現に幅があるため、具体的なところまで示した方が、教育に力を入れている鎌倉市として良いと思う。	

⑪文化財の修理及び防災(進捗評価シート④-2)について、状況を示す写真や資料等に全景の写真が載っているが、以前に出した個所ではなく、例えば平家池だとか、出していないものの方が良いのではないかと。永福寺跡の写真が昨年度と同じで、工事施工中の写真なので、完成後の写真にした方が良い。

⑫文化財の保存・活用の普及及び啓発(進捗評価シート④-3)について、定性的・定量的評価の欄は、鎌倉国宝館や鎌倉歴史文化交流館の2つの施設があるので、鎌倉国宝館の特別展で何を何回行い、何人来場者があったのか。そのようなものを盛り込んでいくとかなり重厚感が出てくる。

⑬日本遺産に関する普及啓発活動(進捗評価シート⑥-1)について、定性的・定量的評価の欄にブックレットの配付数、ユーチューブの配信回数など定量的な内容を入れた方が良い。

⑭歴史的遺産と共生するまちづくりの啓発(進捗評価シート⑥-2)について、定性的・定量的評価の欄に特別展のカウント数も入れられないことはないと思う。

(今後の対応方針)

①計画に掲載した整備事業は終了したことから、進捗評価シートの現在の状況欄を「実施中」から「実施済」に修正する。

②進捗評価シートの状況を示す写真や資料等の欄に文化財の指定や登録の情報についても追記をする。

③計画期間内に事業が終了できるよう、事業担当課とスケジュール調整を行っており、定性的・定量的評価の欄には、その旨の内容が分かるような記述に修正する。

④平成29年度実績では、優先度A・B・Cがあり、優先度の高いAを実施したものである。ただし、課題と対応方針として、実際には6年に1回だったものを3年に1回という形に見直しを行った関係上、数が多くなり優先度の低い軽微な個所は実施することはできなかったことは、今後の課題と捉えている。

⑤状況を示す写真に買入れ箇所がわかるような表示を行い修正する。

⑥発掘調査速報展のほか、鎌倉歴史文化交流館で実施した速報展の実績も定性的・定量的評価の欄に記載を行う。

⑦平成29年度から始めたアドバイザー準備会議の取組については実績の一つであることから、定性的・定量的評価の欄に追記する。

⑧基本は発掘が終了してから3年以内に報告書を刊行することが文化庁の通知、県の基準に示されている。鎌倉市においては、その3年を超えているものが68件という状況である。これを解消するため、平成29年度から外部委託にて5年間で解消する計画をスタートさせている。今年度は27件分処理できるため、5年で全て解消し正常維持できるように進めているという意味で「計画通り進捗している」と記載している。課題と対応方針の欄の記載については「5年計画を立てて、解消に努めている。それを着実に取組んでいく必要がある。」という記述にすれば前向きに捉えた課題として表現できると考える。

⑨平成29年度の成果として設置場所や設置数などの内容を定性的・定量的評価の欄に追記する。

⑩「私たちの鎌倉」と「かまくら」の資料について、まず「私たちの鎌倉」は中学校1年生には全員に配付し、「かまくら」は小学校3年生全員に配付して、それを元に授業で使用していると聞いている。この内容を定性的・定量的評価欄のコメントに付け加える形で修正をする。また、定量的にわかるような書き方で記載をしたい。

⑪状況を示す写真については、施設管理者の了解が得られれば、新たな写真の掲載も行っていきたい。また、永福寺跡については、整備が終了した写真を掲載したい。

⑫鎌倉国宝館や鎌倉歴史文化交流館の2つの施設の特別展の状況を確認し、定性的・定量的評価の欄に実績を盛り込んでいきたい。

⑬ブックレットの配付数やユーチューブの配信回数は把握しているため、定量的な数値を入れた形で進捗評価シートを完成させたい。

⑭特別展の状況を確認し、定性的・定量的評価の欄に実績を盛り込んでいきたい。また、ツイッターの更新回数も把握しているため、定量的な数値を入れた形でこのシートを完成させたい。